

## 主な質問・意見等

### 1 道民意見提出手続（パブリックコメント）等への対応について

意見	<p>○資料の 1-2、「フッ素にこだわらなくても磨き方など、病気になりにくいやり方を教える講座を開いてもいいと思う」という意見について、道の回答案の通りで良いと思う。我が国において歯磨剤の中にフッ化物が配合されているものは9割を超しているため、正しい磨き方を学ぶ講座を開いたとしてもほとんどの歯磨剤にフッ化物が入っているため、その効果を十分にわかるということも含めてこの回答で良いと思う。</p> <p>○資料 1-3、60 歳で 24 本以上の歯を有する者の割合に係る目標値の設定について、案に書かれている通りの状況かと思う。歯科疾患実態調査の場合は、毎年調査ではないためどうしても予測値に使えるデータ数が限られる。国でも単純回帰直線による予測をしているため、若干ブレ幅があるところ。今後の調査の結果を踏まえて目標値についても適宜適切に見直していくということも記載されているので、この回答で良いと思う。</p>
質問	<p>○資料の 1-2、「フッ素にこだわらなくても磨き方など、病気になりにくいやり方を教える講座を開いてもいいと思う」という意見への回答案について、内容はいいと思うが、中学生向けでもこの文体でいいのか。計画の優しい版は非常に優しいのに、中学生には非常に難しい。</p>
回答 (事務局)	<p>○今回の資料には入れていなかったが、子ども向けに回答するものについては、回答自体も優しい版を作成予定。</p>
意見	<p>○資料の 1-2、「フッ素にこだわらなくても磨き方など、病気になりにくいやり方を教える講座を開いてもいいと思う」という意見について、企業などで小学校の歯磨き指導、歯磨き大会が行われているが、企業の方々から北海道の小学生の参加率が低いと聞いている。</p> <p>また、学校歯科医が学校に赴いてブラッシング指導している話も非常に少ない状況のため、意見のあった中学生がもしかするとそういう指導を、受けていなく、他の学校や道外の友人などが受けている部分の差が見えているのかもしれない。</p> <p>積極的に小中学校でもブラッシング指導、学校の中で学校保健委員会を開催し、こういう部分も活発的に行ってはどうか。</p>
回答 (事務局)	<p>○教育と連携しながら、この辺りを進めていきたい。</p>
意見	<p>○小中学校から歯磨き指導の依頼が来ることもあり、札幌歯科医師会と協力して、札幌圏内、江別市、石狩市などに伺っている。リピーターが多い一方で、知らなかったという学校もあり、うまく取り入れて</p>

	<p>いる学校とそうじゃない学校の差もあると思う。</p> <p>市町村によっても積極的に入っているところ、全然入っていないところがあると思うため、行政の方からも働きかけをしてはどうか。</p>
回答 (事務局)	<p>○各民間企業や各団体等の中で行われている取り組みにどんなものがあるのかというところを把握しきれしていない部分もあるため、情報収集を行い、教育と連携を図りながら検討を進めてまいりたい。</p>
意見	<p>○どういうところがどのようなサービスを出しているかという情報提供がうまくされれば、積極的に子どもの歯・口腔の健康を保っていきたいと考えている自治体は大変多いと認識しているため、うまく根付いていくかと思う。</p> <p>良い歯科保健指導をやっている団体が道内にもあるため、幅広く情報を取ってその情報提供を、道がやるのと、民間ベースでやるのと、全く意味が違ってくるため、ぜひそのような形で対応していただけると良いと思う。</p>

2 「北海道歯科保健医療推進計画（8020歯っぴいプラン）」（案）について

3 「北海道医療計画」（案）についてについて

意見等なし

4 歯科保健医療提供体制構築検討会（仮称）の設置について

質問	<p>○この検討会は2次医療圏に設置するものか。</p>
回答 (事務局)	<p>○道本庁に設置し、既に2次医療圏では、場所によって検討されている場があるため、適宜地域と連携をとりながら進めていくもの。</p>
質問	<p>○口腔保健推進協議会との役割の違いを教えて欲しい。</p>
回答 (事務局)	<p>○口腔保健推進協議会は条例に基づく事項全般について協議することとなっている。今後、正確な関連性や位置づけについては別途示させていただきたい。</p> <p>本検討会については、あくまで歯科保健医療提供体制の構築というところに焦点を当てて議論をする位置付けとしている。</p>
質問	<p>○2次医療圏側から見たときに、検討会が二つある。各会議の役割が、実感を持った形でわかるかと思いながら聞いていた。</p>
回答 (事務局)	<p>○2次医療圏単位で具体的に検討するというよりも、まずはニーズと状況を把握し、そのいただいた情報を道庁で設置する検討会にて検討する形になる。</p> <p>2次医療圏単位の具体的な検討は、その後には入ってくるが、まずは</p>

	<p>その地域の状況を吸い上げるというところで、2次医療圏ということを示している。</p> <p>同時並行で2次医療圏とこの検討会で一気に検討を進めるということではない。</p>
質問	<p>○2次医療圏では保健所が持っている会議でやるということだと思うので、それはわかる。</p> <p>2次医療圏側にしてみたときには、そこで検討しているものは本庁の方にも報告したり、おそらくこの協議会に報告が結果的に流れているのではないかと思ったが、その中で歯科保健医療提供体制に関わることはこちらの検討会にも提供することになるのか。</p>
回答 (事務局)	<p>○2次医療圏ごとの検討の場として、歯科専門部会が設置されている。</p> <p>そこにおいて取り組みや課題に挙げられているものを検討会にて情報収集するというような作りで考えている。</p>
意見、質問	<p>○本協議会と新規に立ち上げる検討会との立ち位置をより明確にしておいた方が後々トラブルなくやれると思う。</p> <p>この辺り、並列でいくのか、それともどちらかが上位に行くのか、人材確保にある程度特化したものが新規の検討会ということであるならば、そういうことをより明確に書くと、協議会と検討会の立ち位置が整理できるのではないかと思う。その点資料等作成されるときに修正をしていただければと思う。</p> <p>○検討会の中で調査分析、課題の共有、人材確保の方針ということで、3本柱があるが、3本並行して検討していくのか、それとも先にどちらかという調査分析にウェイトをかけて、既に2次医療圏での動きもあるのでそこら辺の情報もいただきつつ、分析するのを最初のステップとして、向かって左側から右に流れていく形なのか、それとも少し取り組みの時期が変わってくるかもしれないが、3本並行して走らせるイメージでいるのか。まだ立ち上げなので、あくまでもイメージだけで構わないと思うが、わかったら教えていただきたい。</p>
回答 (事務局)	<p>○最終的には今後、検討の上で決定という形にさせていただきたいが、検討会の立ち位置は必ずしも人材確保だけというわけではなく、それを大きな一つのテーマにさせていただき、この協議会の下につけるワーキンググループのような形で行っていくことを現時点では想定している。</p> <p>○順番の話は、基本的にまず調査分析を行わないと人材確保についてはなかなか方針を立てづらいと考えている。</p> <p>第1に必ず進めていかなければいけないのは調査分析と考えているが、課題の共有というところでは、既に皆様にやっていただいている</p>

	<p>る取り組みがあると思うし、それを共有して、既にそれにおける課題があると思うため、そちらについては、検討会を立ち上げ当初から進めていくこともできるのではないかと考えている。</p>
質問	<p>○検討会が本協議会のワーキンググループ的な立ち位置を想定ということだとすごくすっきりすると思う。そうすると、2次医療圏側も混乱はしないだろうと思う。</p> <p>○進め方の順番は、調査分析の柱と課題の共有の柱が2本あって最初に進んでこの両者が連携しあって、そこでの協議の結果をもとに人材確保の方針に繋げていくという説明だったと理解したが、そういう理解でよいか。</p>
回答 (事務局)	<p>○そのとおり。今回のポンチ絵は、フローの部分がわかりづらくなっていたため、今後修正してまいりたい。</p>
質問	<p>○検討会は、歯科医師に限らず歯科衛生士、歯科技工士も対象になってくると思うが、調査分析で、こんな調査をしていきたいという、今イメージされているものを伺いたい。</p>
回答 (事務局)	<p>○様々なものが考えられると思うが、第1に必要なものと考えているのは、今後の歯科医療や歯科保健の需給状況がどのような形になっていくかということを出していきたい。</p> <p>先ほど供給の面で、歯科医師が0名や歯科医師が1名の市町村がこのような形になっているという話をしたが、今後地方においては高齢化や人口減少が進んでいく中で、どのぐらいのニーズがあるのかということをしかり把握しなければ、どのぐらいの数が必要かということをはっきりしないため、そのあたりをまず第1にやっていきたいと考えている。</p>
意見	<p>○歯科衛生士も地域ですごく偏りがあることを課題に思っているが、いろんな角度からの情報を得られたら、会としても今後の活動に繋げていけるかと思う。いろんな角度で情報収集していただくとありがたい。</p>
意見	<p>○開業の先生の話から言うと、当地域、歯科医師会の会員数100名ちょっといるが、去年1年間だけで12名の先生が廃業していて、そのうちの多くが、後継者がいないということで廃業している。まだすごく過疎地域ではなく、それなりに歯科医療の提供は満たされている地域ではあるが、今後のことを考えると、将来推計としてこれがどんなペースで減っていくのか、そういうことも我々の地域だけではなく、他の地域でも課題に持たれていると思う。</p> <p>札幌を見ていると歯医者が増えているかと思っているかもしれないが、実はそんなこと全然なく、札幌だけがこのまま20年放っておいてもあまり問題にならないだろうと思われるところ。それ以外の地域</p>

	<p>は結構いろいろと問題を抱えていて、そういうことを含めて、まず調査をしていただいて、そうすると、しばらく放っておいてもいいだろうと思うのか、それとも、何かテコ入れをして急ぎ検討していかないと、本当に無医、無歯科医師の地域がどんどん出てくるのがわかってくるかもしれないため、調べることは必要だろうと思う。</p> <p>もちろん検討会だけで、将来展望や具体策ができるとは到底思えないが、その足がかりとして、こういう調査をしたり、検討したりするところを作っておかないと、将来的にすごく困ってくるものが起きてくるのではないかと思っている。こういうものは必要だろうと切実に思う。</p> <p>○病院歯科についても、実は人材豊富どころでは全然なく、地方に若い医者が行きたがらないため、当院も最大7名在籍があったが、来年は3名になってしまって、口腔外科、病院歯科については大学も派遣する人材がない。2次医療機関としての病院歯科も、その病院歯科の人も少ないし、病院歯科自体もないところも結構あるため、歯科医療でいくと1次医療が開業の先生だとすると、2次医療を引き受ける病院歯科が全くない地域、留萌や稚内や浦河など、非常に困っている先生方もいる。どの程度困っているのかということも実態としては把握できていないため、そういうことをこの検討会の場所で、いろいろ調べたり、議論したり考えたりしていくのがいいのではないかと思う。</p>
意見	<p>○最近、65歳を過ぎて廃業される先生がすごく多くなっている。年金をもらえるようになったという部分もおそらくあると思うが、IT化が進んでおり、レセコンを導入するのに数百万かかるのと、年配のメールもなかなか打てない先生が、なかなか新しく機械を入れてレセコンでレセプトを出す。また、ITカード保険証、そういうものを導入するために結構なお金がかかってくる部分と、できないという部分があり、やめてしまう方がおそらく相当いる。</p> <p>医科や薬科の部分ではほとんどもう手書きのレセプトというのはないが、歯科ではまだ相当な枚数が実際にあり、そういう先生方がこれから国の施策で、オンラインで請求をしてくださいという流れになってきていて、そうするための経費や、そこまで投資するだけの余力というか、患者さんもない部分で考えて、閉院される先生がおそらく多くなってくると思う。</p> <p>道の方でゆっくり考えているうちに、しびれを切らして辞めてしまう先生方が突如多くなる可能性もあるため、年配でレセコンなどを導入していない先生方に関しては、道の方で何かしらバックアップをしてあげたり、1台のレセコンで5人ぐらいの先生方が一緒に入力でき</p>

	<p>るような状況にアシストしてあげたりというものも、何かしら考えてもいいのではないかと思う。</p>
<p>回答 (事務局)</p>	<p>○確かにそういう部分も、行政としてのフォローができればいいのかと思うところではあるが、診療報酬請求の体制整備の部分で、少なくとも道行政としてというところでは、今はなかなか役割としては担う部分が難しい状況。</p> <p>逆に言うとそういう意見もあるということに対して、国に伝えるといった部分ではできるかと思うため、直接何らかというところが、なかなか難しい立場であるとともに、そういった話については、要望の方に変えていき、皆様の意見を頂戴しながらできること、進められる方法を検討してまいりたい。</p>
<p>意見、質問</p>	<p>○大多数の歯科技工士が務めるのは歯科技工所というところで、こちらに勤務している限りは、一般の方々と触れ合う機会は少ない。</p> <p>また、歯科医院や病院で勤務していても一般の方々に触れ合う機会が少なく、歯科技工士という職業をいかに一般の方々に伝えていくかというところが、一つの課題ではあるが、なかなか具体的な取り組みができていない。</p> <p>人材確保というところで、直近の情報をお伝えすると、前々回、十数年前の3校の入学者が100名を超えていたところが、最近では30名ぐらいという話をしていたが、この4月の入学予定者数は1次募集の段階では10名台になっており、さらに急速に減っている。</p> <p>具体的にどういうふうになってくるかという我々の展望は、差し歯に当たるような部分の仕事は、歯科技工物では人気が高いものになり、今、デジタル化もどんどん進んでいるため、直近ではそれほど大きな影響は受けないかと思っている。すぐに非常に厳しいだろうと予見されるのが、総入れ歯、部分入れ歯になる。こちらは非常に技術的なところと、デジタル化が難しい分野で、少しずつ進んではきているが、なかなか業界の方でも進みきれていないところがある。</p> <p>ここが具体的に顕著に出てきて、地域で一体どんなような取り組みがあるかというところだが、歯科技工所の7割が個人事業主の方で、そういった方々が65で引退することは少ないが、70とか、ある程度働いて年金が入ったときに、地域のある程度人数がいるようなところに、午前中だけ何とか手伝ってもらえないかという形で補っている現実もある。</p> <p>理学療法士会と話す機会があり、いろんな団体の方々に噛めるというところが生体に影響してくることを認識いただいている。そういった分野でいかに人材を確保していくかというところは重要と思って</p>

	<p>いる。</p> <p>○歯科専門職の養成校も検討会の場に参加させていただくというのがあったが、例えば3校、歯科技工士の養成があるが、何か代表のような形や、描いているところがあれば教えていただきたい。</p>
<p>回答 (事務局)</p>	<p>○養成校については、まだ現時点ではどこにや、代表でというところまではっきりとしたことは考えていない。</p> <p>今後、意見をいただきながらどのような形で参加いただくのが適切かというところも助言をいただければと思っている。</p>
<p>意見</p>	<p>○(薬剤師会では)第8次医療計画に則った薬剤師偏在の問題を、大学の先生並びに病院の薬剤師の先生方、道庁の方々と協議している。</p> <p>10年後20年後30年後を、統計でデータを出しているが、札幌はさほど人口の動態の変わらない地域として薬剤師の偏在の問題はない。2次医療圏ごとで見ると札幌以外のところは特に10年後、15年後ぐらいから偏在の指標が出ていて、薬剤師の労働の係数というのがあり、それを1として、1を切った数字が15年ぐらいだと北海道の3分の1以上の地域で出ている。</p> <p>○特に病院の薬剤師の偏在の問題が出ていて、対策を検討している。</p> <p>例えば、北海道に住んでみたいという方々が関東にはたくさんいると聞いているため、そういった方々を、札幌以外の地域に、北海道薬剤師会で間を取るか、あるいは行政機関で間を取るかというのは別問題だが、中間に何らかの組織を入れて、北海道に興味を持った若い層、特に30代から40代のこれからの経験が必要となる世代を北海道の各地に、特に足りない病院薬剤師にあてがったり、在宅での看取りを含めた薬局の薬剤師に誘致する。</p> <p>対策としては関東から北海道という土地に興味がある方を誘導する、あるいは大学の時から北海道という地で生活してみたい学生や大学院生を誘導する形でやってみようかというのが今議論の俎上に上がっている。</p>

## 5 その他

<p>意見</p>	<p>○徐々にフッ化物洗口もコロナ明けで、広がってはいるが前に話した通り、働き方改革等を含めて全てを学校に任せられる形ではなくなりつつあるため、もし進めるのであれば、人的支援が欲しい。</p> <p>少子化において、小さな学校が出てきて、養護教諭がいない学校もあり、そういったところで誰がやるか、担任の先生も昼休み等々は忙しいし、教頭がいない学校もあるため、小規模校でのいろんな形の中で、フッ化物洗口を広めていくのはどうするかというのは、やはり検討していかなければいけない課題と考えている。</p>
-----------	---